

(様式 1)

研究用微生物利用・保管申請書

平成〇年〇月〇日

室蘭工業大学長 殿

(所属) 工学部 XXX 学科

実験責任者 (氏名) 工大 太郎 印

下記の研究用微生物の利用及び保管について以下のように申請します。

記

微生物の名称	<i>Escherichia coli</i> (省令第 3 条及び別表 2 に記載の株)	
微生物のレベル (注 1)	<input type="checkbox"/> クラス 1	<input checked="" type="checkbox"/> クラス 2
	<input type="checkbox"/> クラス 3	<input type="checkbox"/> クラス 4
利用 (保管) の目的	抗生物質生産紀行に関する微生物化学的研究のため	
利 用	実験室の名称	地域共同研究開発センター生物系実験室
	実験の方法	接種、培養及び細胞抽出液の作成
	実験実施期間	平成 16 年 4 月 1 日 から 平成 17 年 3 月 31 日まで
	実験責任者 (注 2)	(所属・職・氏名) 工学部 XXX 学科・助教授・工大太郎
	実験終了後の微生物の処理等	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄 <input type="checkbox"/> 保管 (廃棄の場合、消毒滅菌方法) オートクレーブによる加熱滅菌 (120℃、20 分間)
保 管	保管場所	地域共同研究開発センター生物系実験室
	保管の方法	スラントとして上記室内設置の冷蔵庫内に施錠保管
その他特記事項	なし	

注 1 二種省令第 3 条及び別表 2 にクラスを定めていない研究用微生物にあつては、クラス判断根拠を別紙に記入すること。なおクラス 3 及びクラス 4 の微生物を使用する場合は、組換え DNA 実験実施の有無にかかわらず、また実験開始に先立って、組換え DNA 安全主任者による微生物取り扱い施設、設備等の査察を受けるとともに、主任者が指定する書類を提出しなければならない。

注 2 室蘭工業大学組換え DNA 実験実施規則第 13 条の規定に適合する者と判断できる資料を添付すること。